

ポーランド国内治安関連統計（2025年第1四半期）

令和7年5月14日

在ポーランド日本国大使館

1. 2025年第1四半期（1月～3月）治安統計

国家警察本部の情報によると、2025年第1四半期（1月～3月）の総犯罪認知件数は21万8,895件となった。

前期（2024年第4四半期）比では、総犯罪認知件数が14.7%増となった。例年、第1四半期は、前期比で総犯罪認知件数が増加し、特に侵入盗と薬物犯罪が大幅に増加する傾向が見られる。

前年同期（2024年第1四半期）比では、総犯罪認知件数が5.9%減となった。犯罪類型別では、殺人、暴行及び薬物犯罪が増加し、その他犯罪は減少した。

※ 傷害及び偽造については、今期をもって警察本部の統計から削除された。

	2024年第1四半期		2024年第2四半期		2024年第3四半期		2024年第4四半期		2025年第1四半期		
	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	前年同期比
総認知件数	232,649	119.2%	226,200	97.2%	140,395	62.1%	190,821	135.9%	218,895	114.7%	94.1%
殺人	113	85.0%	152	134.5%	108	71.1%	129	119.4%	129	100.0%	114.2%
傷害	2,095	84.1%	2,925	139.6%	1,813	62.0%	2,592	143.0%			
暴行	546	75.3%	880	161.2%	513	58.3%	761	148.3%			
強姦性交	234	78.8%	347	148.3%	203	58.5%	318	156.7%	209	65.7%	89.3%
強盗	1,112	98.9%	1,389	124.9%	790	56.9%	955	120.9%	935	97.9%	84.1%
窃盗	20,869	75.2%	25,580	122.6%	20,172	78.9%	25,599	126.9%	19,622	76.7%	94.0%
車両窃盗	950	40.7%	1,508	158.7%	1,261	83.6%	2,015	159.8%	860	42.7%	90.5%
侵入盗	17,551	130.4%	16,843	96.0%	10,373	61.6%	12,366	119.2%	17,418	140.9%	99.2%
薬物犯罪	18,689	132.3%	22,948	122.8%	13,857	60.4%	15,587	112.5%	18,748	120.3%	100.3%
偽造	3,849	104.4%	4,454	115.7%	2,771	62.2%	3,684	132.9%			

（国家警察本部提供の統計を基に作成）

2. 邦人被害発生状況（当館に報告のあった事案）

○ 特段の報告はなし。

3. 日系企業の安全に関する諸問題等

○ 日系企業の安全について、特段の問題は確認されず。

4. テロ関連事案

- 特段の事案は確認されず。

5. その他参考事案

- 2月4日午後5時頃、ワルシャワ市モコトフ地区のヘウムスカ（Chełmska）通りで、男がバスの運転席に向けてエアガンを発砲する事件が発生した。バスのガラスが一部損傷したが、負傷者はなかった。男は、119番バスの後部座席に座っていたところ、突然立ち上がって運転席に向かい、運転手に免許証を見せるよう要求した。運転手がこれを拒んだところ、男はバスから降り、運転手に向けてエアガンを3回発砲した。2月6日、警察は、容疑者として36歳のポーランド人の男を逮捕したことを明らかにした。男は薬物関連等の犯歴を有していた。自宅からは、犯行に使用したとみられるエアガンが見つかった。
- 2月26日、ワルシャワ首都警察は、高齢女性3人が自宅で絞殺された一連の強盗殺人事件に関し、43歳のポーランド人の男と33歳のウクライナ人の男を逮捕したことを明らかにした。容疑者2人は、事件現場から宝石、絵画、現金等を盗んでおり、殺人に加え、強盗等複数の罪で起訴された。容疑者の2人は、配管工事の作業員をしており、事件前に作業員の立場を利用して高齢女性らの情報を集めていたとされる。最初の事件は2月15日から16日の夜に旧市街のフランチシュカインスカ（Franciszkańska）通りで、2番目の事件は22日から23日の夜にオホタ地区のクシェンチア・トルイデナ（Księcia Trojdena）通りで、3番目の事件は24日から25日の夜にウルシヌフ地区のヴォンヴォゾヴァ（Wąwozowa）通りでそれぞれ発生した。各事件では、80歳、89歳及び73歳の高齢女性が自宅で絞殺され、高級品を盗まれた。

（次頁に参考情報として中・長期的な治安統計を掲載）

【参考：過去5年の犯罪認知件数の推移】

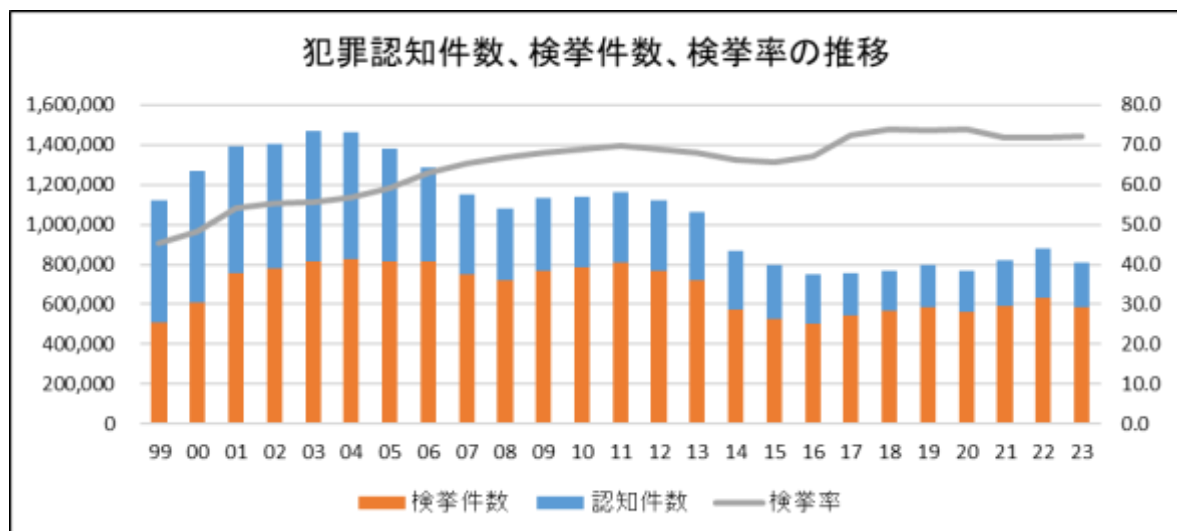
- 総認知件数は、2020年以降増加傾向にあったが、2023年以降減少に転じた。
- 車両窃盗及び侵入盗は、2021年以降、減少傾向にある。
- その他犯罪類型は、増減するも特段の傾向は見られない。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
総認知件数	784,214	109.7%	880,704	112.3%	880,931	100.0%	809,133	91.8%	790,065	97.6%
殺人	653	141.0%	623	95.4%	506	81.2%	565	111.7%	502	88.8%
傷害	9,603	98.5%	8,392	87.4%	9,549	113.8%	9,329	97.7%	9,425	101.0%
暴行	3,226	91.5%	2,482	76.9%	2,888	116.4%	2,842	98.4%	2,700	95.0%
強制性交	1,076	86.2%	1,161	107.9%	1,108	95.4%	1,111	100.3%	1,102	99.2%
強盗	5,284	92.8%	4,646	87.9%	4,823	103.8%	4,647	96.4%	4,246	91.4%
窃盗	100,074	112.8%	116,691	116.6%	123,589	105.9%	119,701	96.9%	92,220	77.0%
車両窃盗	8,828	119.3%	8,056	91.3%	7,423	92.1%	6,375	85.9%	5,734	89.9%
侵入盗	74,339	119.7%	72,324	97.3%	70,069	96.9%	64,347	91.8%	57,133	88.8%
薬物犯罪	66,425	113.4%	73,157	110.1%	69,991	95.7%	67,251	96.1%	71,081	105.7%
偽造	17,191	94.5%	13,416	78.0%	13,812	103.0%	13,522	97.9%	14,758	109.1%

(国家警察本部の情報を基に作成)

【参考：長期的な犯罪認知件数等の推移】

- 2000年代初めに一時的に治安が悪化したが、警察による取締強化や警察能力の向上によって治安が改善し、近年の治安状況は安定している。



(国家警察本部の情報を基に作成)